

せんいち町内会報

令和 2年 7月

千田町一丁目町内会
(090-8358-6076)

ふりかえりの塔 慰霊祭



あの時、燃え盛る火の中の「私はもうだめです、早く逃げなさい」と叫ぶ声を聞きながらも、泣き泣きやむなく逃げた悲惨なありし日の思いを刻んだ“ふりかえりの塔”

被爆 75年の節目の慰霊祭を次のとおり執り行います。

お誘い合っつてのお参りをお待ち申し上げます。

◆ 日時 8月1日(土) 9:30～ 慰霊式 (GAOGAO 前) 献花・千羽鶴奉納・平和宣言
※コロナ禍が収まらず語り部会は行いませんが、原爆の記憶を何らかのかたちで伝承できるよう検討しています。

防災記事に教えられて

先日新聞に2日間の連載で西日本豪雨2年と題した記事が編まれ、その中に今年度防災士の資格を取得された女性への取材記事があり、この方は私と同じ受講・受験者の方でした。

◆取材記事には、西日本豪雨(2018年7月6日・死者237名)で子供さんを亡くし自問自答の日々を送る中、知人の進めで、豪雨(2014年8月20日)の被災地安佐南八木地区の交流施設を訪問して、防災士の活動を知り「亡くなった子供はもう守れない、子供を亡くして泣いている人で終わるのは嫌だ」と考え直して、防災士の資格を目指した…事や、防災士としての活動中の今を「私ら負けず嫌いだから、泣き寝入りはしたくないんよ」とコメントされていた。



◆1957年7月25日の(長崎)諫早大水害(死者630名)で、避難した屋根上から見た稲妻の明かりの中を濁流に吞まれて行く人々…、あの恐怖を60有余年ずーと忘れたいと思いつけていましたけど……

そうですね、この記事の方の様に忘れたいだけで終わるのではなく、必要なのは立ち向かう防災士ですよ。

皆さんも防災士へチャレンジしてみませんか！

(防災士・副会長・尾崎)

夏の花苗植え！

6/6(土)に、東千田公園ふりかえりの塔と2班に分かれて花植えをしました。参加いただいた26名の皆さんお疲れさまでした。



(子ども会がんばりました)

子ども会16名でスタート

千一子ども会は今年度16名のメンバーでスタートしました。3月から5月までほぼ2ヶ月休校が続き、子ども会や各種スポーツ少年団の活動も全て休止となっておりました。

◆6月から学校も再開し、今後の方針など話し合いが少しずつ進められてきた状況です。

現在中止が決定している行事は、夏季球技大会、子ども会親善盆踊り、ゆめスコ、町民体育祭です。新聞「千田っ子」の9月発行も中止となりました。

◆行事の中止は残念ですが、休校中に「友達に会いたい」と毎日退屈そうに自宅で体力を持て余していた子どもたちを思うと、学校が再開した第一歩がまずありがたく、当たり前に思っていたことがどんなに貴重だったかを親子で実感する機会ともなりました。このまま少しずつ社会に日常戻ってくることを願っております。今後とも子ども会をよろしく願います。



(子ども会お母さんより)